



防災特集

自主防災について 考えてみよう

～自らの命は自らで守る みんなの地域はみんなで守る～

自主防災訓練・消火訓練(萱町地区)

いつ起きてもおかしくないと言われている東海地震や東南海地震。毎年のように襲来する台風。これらの災害に備え、市などの防災関係機関は積極的に防災対策を進めています。しかし、大規模な災害では、火災、道路の寸断、断水などの被害が広い範囲で発生し、消防や警察などによる救護活動がすぐに行えない状況も予想されます。

そのため、個人や家族での備えはもろろのこと、日ごろから顔を合わせている地域の皆さんが協力して防災活動に取り組む自主的な防災組織(自主防災会)づくりが必要となります。いざというときに頼りになるのは、やはり地域のつながり。防災を通してコミュニティの輪を広げましょう。

田原市では、全74地区で自主防災会が組織され、災害に強い地域づくりが進められています。今回は、自主防災会について市民の皆さんにもっと良く知っていただくため、その役割や活動内容についてご紹介します。

防災対策室 ☎23局 3548



自主防災会の活動

日ごろは、防災計画を立て、防災訓練などを実施して地域の連携を図ったり、それぞれの役割に応じた、防災知識や技術の向上に努めたりして、万が一に備えます。災害が発生したときは、田原市災害対策本部と連携し、組織的な救助・救護活動を行うため、地域の安全を守ります。

●日ごろの活動

- 防災訓練
- 防災講習会
- 防災マップの作成
- 地域内の安全点検
- 防災用資機材の備蓄や購入

●災害発生時の活動

- 情報の収集・伝達
- 初期消火
- 負傷者の救出・救護
- 避難誘導
- 給食・給水

消防団との違い

災害が発生したとき、消防団は田原市災害対策本部の指揮下に入り、田原市全体を対象に活動します。そのため、地元を優先した活動ができない可能性があります。このようなとき、自主防災会の存在が重要になります。